

# 「積極的な人間関係構築」と「正課中心に学ぶ」 就活で第一志望内定を獲得する学生のプロフィール

「大学生のキャリア意識調査2007追跡調査」が示唆するもの

京都大学高等教育研究開発推進センター(田中毎実センター長)と(財)電通育英会(松本宏理事長)が共同して実施した「大学生のキャリア意識調査2007追跡調査」の分析結果が、『大学生のキャリア意識調査2007追跡報告書【4年生・就職編】』としてまとまりましたのでお知らせいたします。

この調査は、2007年11月に実施した「大学生のキャリア意識調査2007」の調査対象者(当時の大学3年生)と同一人に対して、1年後の2008年11月に再び調査を行った点が大きな特徴です。

このリリースでは2007年11月に実施した、3年生当時のキャリアに関する意識と行動実態と、1年後の4年生11月時点での就活結果の関連性の抜粋をご紹介します。

本リリースでは、2008年11月時点での就職状況によって学生を次の5組に分類しました。

- ・就職活動を行い、第一希望の就職先から内定を得ている学生→**本命企業内定**
- ・就職活動を行い、第一希望以外の就職先から内定を得ている学生→**本命以外内定**
- ・就職活動を行い、まだどこからも内定を得ていない学生→**未内定**
- ・公務員試験、教員採用試験等を受験して就職をめざしている学生→**受験組**
- ・就職活動を行わない(中止、断念、延期)学生→**就活放棄組**

なお、ここで紹介する「大学生のキャリア意識調査2007追跡報告書【4年生・就職編】」の全文は、(財)電通育英会のホームページ <http://www.dentsu-ikueikai.or.jp> に掲載されています。併せてご参照ください。

## 目次

- 内定者は51%、未内定は19%。就活放棄は13%……………1
- 内定獲得学生の84%は結果に「満足」。本命を逃した学生は無念さがチラリ……………1
- 就活で本命企業内定と本命以外内定を分けた最大の原因は「学び」に対する姿勢……………2
- 内定獲得者は人との交際、アルバイトもしっかり。受験組は授業・勉強が最優先……………3
- 「社交性」、「体力」、「経済力」に自信を持っている内定獲得者……………4
- 本命企業内定がトップだった「頻繁にメール交換する人数」と「アドレス登録数」……………5
- 内定獲得者のバイタリティが経済力の高さに結びつく……………5
- 「親友」と「異性の友人」の存在は内定獲得への力になる?……………6
- よく遊び、よく学ぶことが、より良い就活結果に結びつく……………7
- 調査概要・「大学生研究フォーラム2009」開催のお知らせ……………8

## 内定者は51%、未内定は19%。 就活放棄は13%

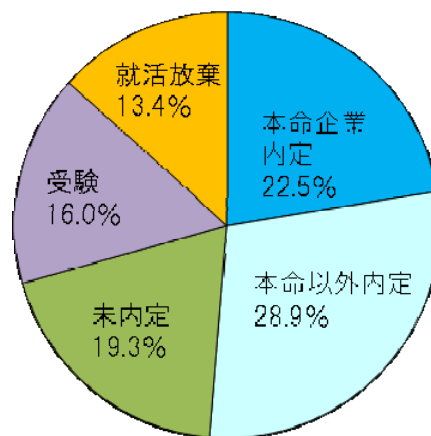
2008年11月の調査時点での調査対象の大学生の就職状況を示したのが右のグラフです。

本命企業内定の学生が23%、本命以外内定が29%で、合わせて51%の学生が就活の成果としてすでに内定を獲得していました。

就職活動を行いながらも未内定の学生は19%でした。

一方、一般企業への就活は行わずに公務員試験などを受験することで就職を目指している学生は16%、全く就活を行っていない学生が13%でした。

08年11月時点の就職状況

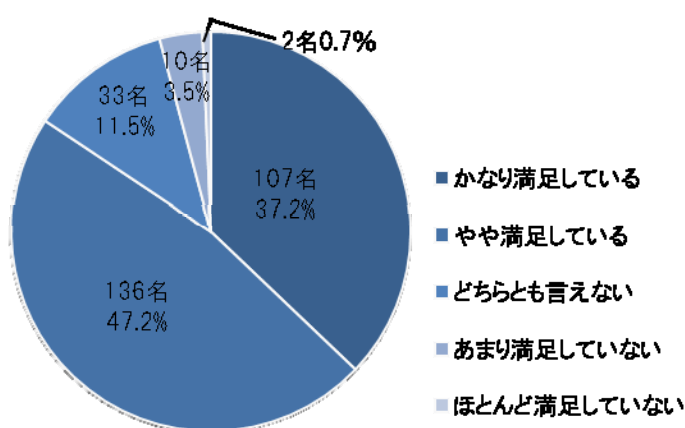


## 内定獲得学生の84%は結果に「満足」 本命を逃がした学生は無念さがチラリ

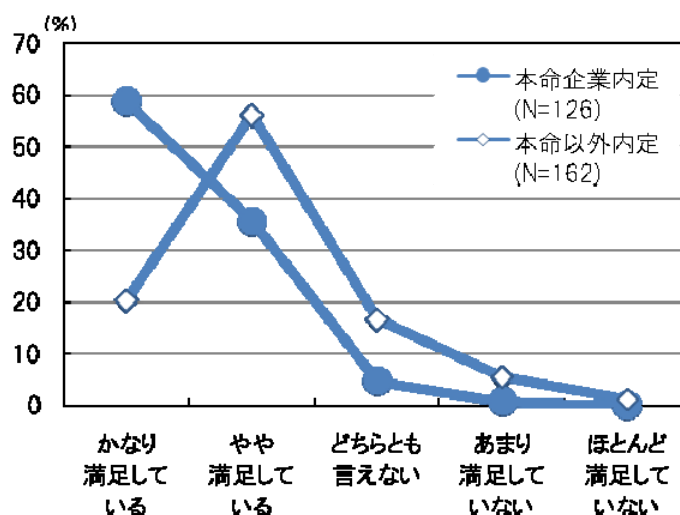
内定が決まったことに「かなり満足している」学生は37%、「やや満足している」が47%で、合わせて84%が満足していると答えています。しかし本命企業内定と本命以外内定では満足度に温度差がみられました。

本命企業内定では「かなり満足している」が60%近くに達し、「やや満足している」の37%を大きく上回っているのに対し、本命以外内定では、「かなり満足している」は20%と低く、「やや満足している」が55%で、本命を逃がした無念さが垣間見えます。内定をもらっても「満足していない」学生は4%で少数派でした。

内定者の満足度



本命企業内定と本命以外内定の満足度の温度差



## 就活で本命と本命以外を分けた最大の原因は「学び」に対する姿勢

本命企業内定組と本命以外内定組の「大学で学ぶ理由」で共通していたのは「人との交流」や、「自分を高めたい」など自己研鑽への積極性でした。しかし、「特に学びたいものがある」や「高い専門性を身につけたい」など、学びに対する姿勢では本命企業内定組のほうが関心が高く、これが本命と本命以外の差が付いた理由かもしれません。受験組は学びに関する項目が高い反面、人の交流に対する項目を挙げた人が少ないことが特徴でした。

### 08年11月時点の就職状況と、2007年11月時点の「大学で学ぶ理由」

	本命企業 内定 (N=126)	本命以外 内定 (N=162)	未内定 (N=108)	受験 (N=90)	就活 放棄 (N=75)
いろいろな人と出会えるから	3.18	3.12	2.84	3.03	2.81 **
多くの人と交わることができるから	3.10	3.09	2.76	2.97	2.75 **
新たな友人を作ることができるから	3.16	3.13	2.80	2.90	2.77 **
楽しそうな場だから	2.92	2.95	2.69	2.76	2.63
人間関係が豊かになるから	3.00	3.09	2.94	2.96	2.69 **
視野を広げたいから	3.52	3.46	3.49	3.53	3.27
自分を高めたいから	3.51	3.36	3.38	3.57	3.33
幅広い教養を身につけたいから	3.41	3.31	3.32	3.53	3.29
自分の幅を広げたいから	3.44	3.36	3.36	3.50	3.25
物事を多様に見ることができるから	3.14	3.17	3.13	3.17	3.05
日常的に接したことに興味をもったから	2.85	2.80	2.68	2.72	2.59
ふだん、疑問に感じたことを勉強したいから	2.69	2.62	2.66	2.69	2.60
日常生活で見たり、聞いたりしたことについて学びたいから	2.75	2.70	2.61	2.70	2.55
新聞、雑誌から、興味がわいたから	2.13	2.18	2.14	2.22	2.09
自分の経験と知識が融合すると興味がわくから	2.80	2.85	2.90	2.92	2.71
なりたい職業や、資格のため	3.06	2.85	3.05	3.34	3.07 **
高い専門性を身につけたいから	3.16	2.91	3.03	3.44	3.09 **
現在関わっている活動や仕事上、勉強することが必要であるから	2.39	2.23	2.38	2.59	2.11
自分自身が関わった活動や仕事に関する事柄を学びたいから	2.69	2.51	2.60	2.69	2.39
経験を裏付ける専門的知識がないから	2.60	2.49	2.51	2.72	2.36
なんとなく勉強しているだけだ	2.29	2.56	2.42	2.16	2.45 **
義務的に勉強している	2.17	2.24	2.19	2.11	2.28
ほかにやりたいことがなかったから	2.03	2.22	2.19	2.09	2.17
特に学びたいものがあるから	2.79	2.49	2.67	2.86	2.77 **
興味ある分野を学びたいから	3.24	3.03	3.07	3.22	3.08

注)「1:あてはまる」～「4:あてはまらない」の4件法による回答。1%水準で有意な差がみられた項目を網かけにした。また、有意差がみられた項目で最も大きな値に網かけをし、最も小さな値に下線を付した。

## 内定獲得者は人との交際、アルバイトもしっかり 受験組は授業・勉強が最優先

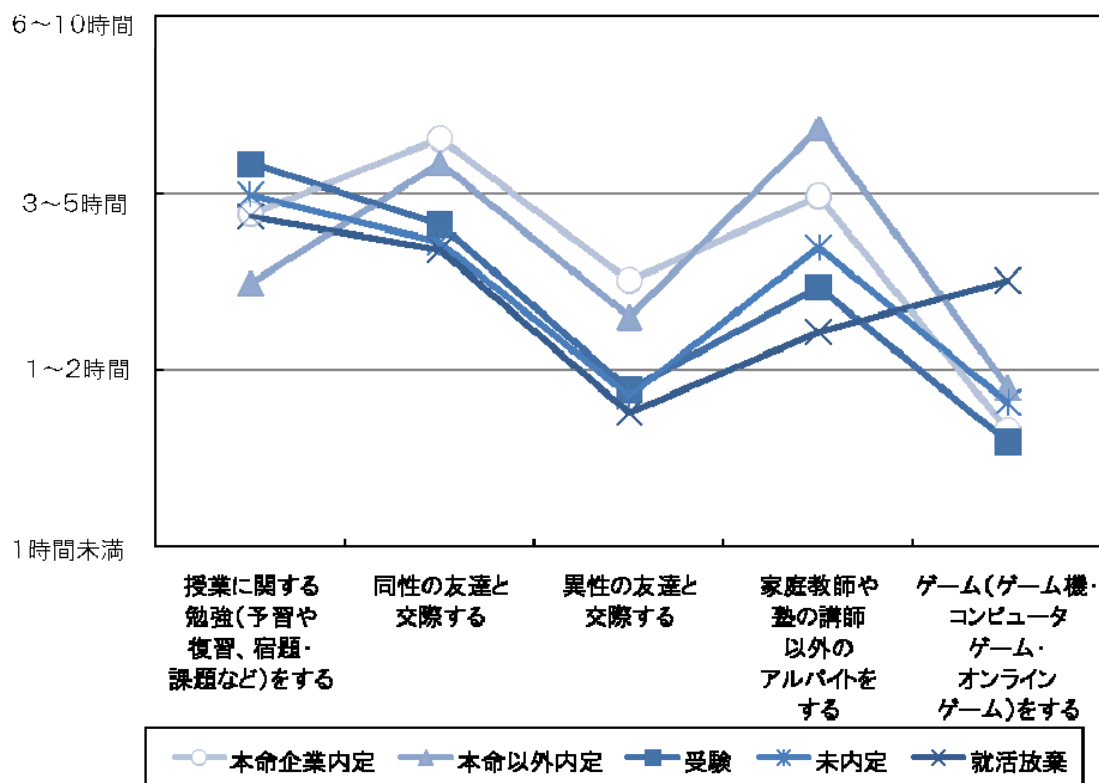
3年生の時点で聞いた「過去1年間に費やした時間」を1週間平均の時間数で回答してもらった結果を、4年生の時点での就職状況と合わせて解析したのが下の図です。

本命企業内定組と本命以外内定組の学生は、同性の友達との交際時間や、異性との交際時間、アルバイト時間を他のグループに比べて多く取っていたことがわかります。しかし、本命以外内定組は学びに費やす時間が他のグループより目立って少なく、学びに対する姿勢の甘さがでています。

勉強に費やす時間が一番多い受験組は、人との交際、特に異性との交際時間が少なく、アルバイト時間も惜しんで勉強に励む姿が見えてきます。

就活放棄組は勉強時間はそこそこですが、人との交流もアルバイトも少なく、ダントツに多いゲーム時間だけが目立つ存在でした。

就活結果別にみた2007年調査時点での「過去1年間に費やした時間(1週間平均)」



## 「社交性」、「体力」、「経済力」に自信を持っている内定獲得者

就活結果と3年生の時点で聞いた「自己評価」との関連を解析した結果、本命企業内定、本命以外内定を獲得している学生は、社交的で体力・運動能力、経済的に自信を持っていました。ただし、本命企業内定の学生は「交際範囲が広い」「自分の生き方に自信がある」、「経済的な面で自信がある」「社会的に評判の良い大学に在籍している」などで自己を高く評価していました。一方、本命以外内定の学生の特徴は「人に対する思いやり」であり「おおらかな人柄である」の項目で自己を評価していました。

未内定組は自分の「おおらかな人柄」を、受験を目指す学生では「社会的に評判の良い大学に在籍している」、「有名大学に在籍している」、就活放棄の学生は「個性的な生き方」をそれぞれ高く評価していました。

就活結果別にみた2007年調査時点での自己評価

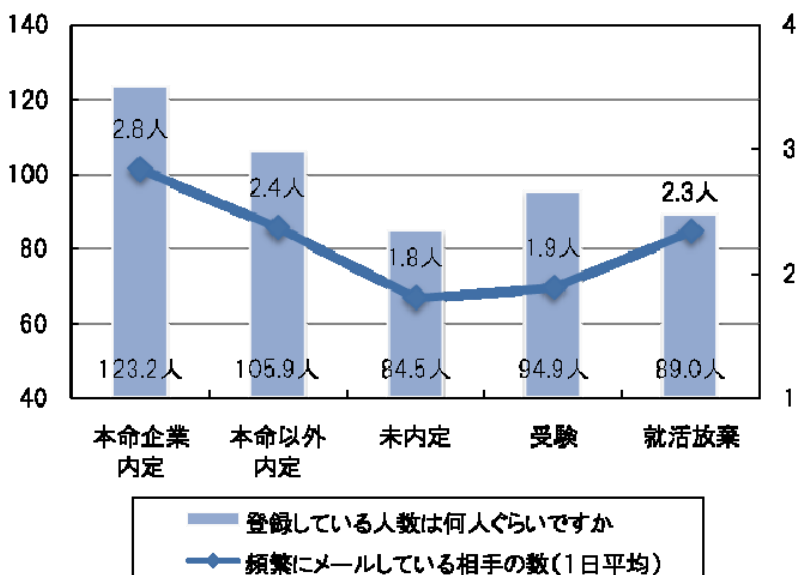
		本命企業 内定 (N=126)	本命以外 内定 (N=162)	未内定 (N=108)	受験 (N=90)	就活放棄 (N=75)	sig.
社交	社交能力に自信がある	3.08	3.00	2.67	2.48	2.40	**
	交際範囲が広い	2.89	2.65	2.54	2.41	2.35	*
	同年配の異性と楽しく話ができる	3.64	3.37	2.94	3.27	3.15	**
優しさ	人に対して思いやりがある	3.71	3.85	3.60	3.58	3.43	*
	人に対して寛大である	3.49	3.73	3.55	3.46	3.43	
	おおらかな人柄である	3.44	3.62	3.56	3.13	3.45	**
生き方	自分の生き方に自信がある	3.27	2.92	2.79	2.90	2.77	**
	個性的な生き方をしている	3.37	3.22	3.21	3.03	3.60	*
	自分に自信がある	2.94	2.70	2.64	2.58	2.68	
まじめさ	きちょうめんな性格である	3.52	3.29	3.14	3.27	3.19	
	自分に厳しい	2.83	2.77	2.73	2.77	2.89	
	責任感が強い	3.71	3.55	3.44	3.44	3.47	
スポーツ能力	体力・運動能力に自信がある	2.86	2.83	2.57	2.64	2.31	*
	運動神経が発達している	2.47	2.57	2.37	2.53	2.24	
	スポーツマンタイプに見える	2.30	2.25	2.07	2.22	1.83	
	得意なスポーツがある	3.00	2.91	2.81	3.12	2.57	
経済力	自由に使えるお金が多い	2.87	2.85	2.36	2.51	2.40	**
	経済的な面で自信がある	2.55	2.39	2.14	2.12	2.01	**
学校の評判	社会的に評判のよい大学に在籍している	3.17	2.94	2.59	3.29	2.75	**
	有名な大学に在籍している	2.95	2.94	2.52	3.24	2.68	**
容貌	目鼻立ちが整っている	2.57	2.35	2.30	2.44	2.28	
	自分の外見に自信がある	2.47	2.31	2.22	2.26	2.20	
	自分の顔に気に入っているところがある	2.78	2.59	2.75	2.58	2.37	
知性	知的能力に自信がある	2.94	2.99	2.82	3.02	2.92	
	人よりいろいろなことを知っている	3.06	2.99	3.09	2.90	2.99	
	頭の回転が速い	3.10	2.95	2.80	2.80	2.83	

## 本命企業内定がトップだった 「頻繁にメール交換する人数」と「アドレス登録数」

いまや学生必携の携帯電話。1日の携帯メールの回数、アドレス登録数は交際範囲の広さ、人との交流の活発さを表す尺度といっても過言ではありません。

就活結果と1日平均の「頻繁にメールしている人数」・「アドレス登録者数」の相関性を示したのが右のグラフです。頻繁にメールする人数もアドレス登録数も本命企業内定>本命以外内定>未内定の順にきれいに並んでいます。本命企業内定を獲得した学生が社会的であることの裏付けともいえるでしょう。

就活結果別にみた「携帯メールの頻度/日」と「アドレス登録者数」



## 内定獲得者のバイタリティが経済力の高さに結びつく

1カ月の生活費は、就活ですでに内定を獲得した本命企業内定、本命以外内定が、他のグループに比べると多いことがわかります。

特にアルバイトは自宅通学者、下宿・寮通学者のいずれも他を圧倒して、バイタリティあふれる性格を表しています。

就活結果別にみた1カ月の生活費

	本命企業内定	本命以外内定	未内定	受験	就活放棄	sig.
自宅通学	仕送り	0.8万円	0.7万円	1.1万円	1.5万円	1.7万円
	アルバイト	5.2万円	5.5万円	3.6万円	3.9万円	3.7万円 **
	奨学金	1.9万円	1.6万円	1.8万円	1.9万円	2.0万円
	その他	0.1万円	0.1万円	0.5万円	0.1万円	0.0万円
	上記合計	8.0万円	7.9万円	6.9万円	7.4万円	7.5万円
下宿・寮通学	仕送り	6.0万円	6.7万円	4.9万円	6.8万円	6.2万円
	アルバイト	3.7万円	3.6万円	1.2万円	2.5万円	2.1万円 **
	奨学金	2.6万円	2.7万円	2.7万円	2.6万円	2.2万円
	その他	0.2万円	0.1万円	0.1万円	0.3万円	0.1万円
	上記合計	12.5万円	13.1万円	8.9万円	12.1万円	10.6万円 **

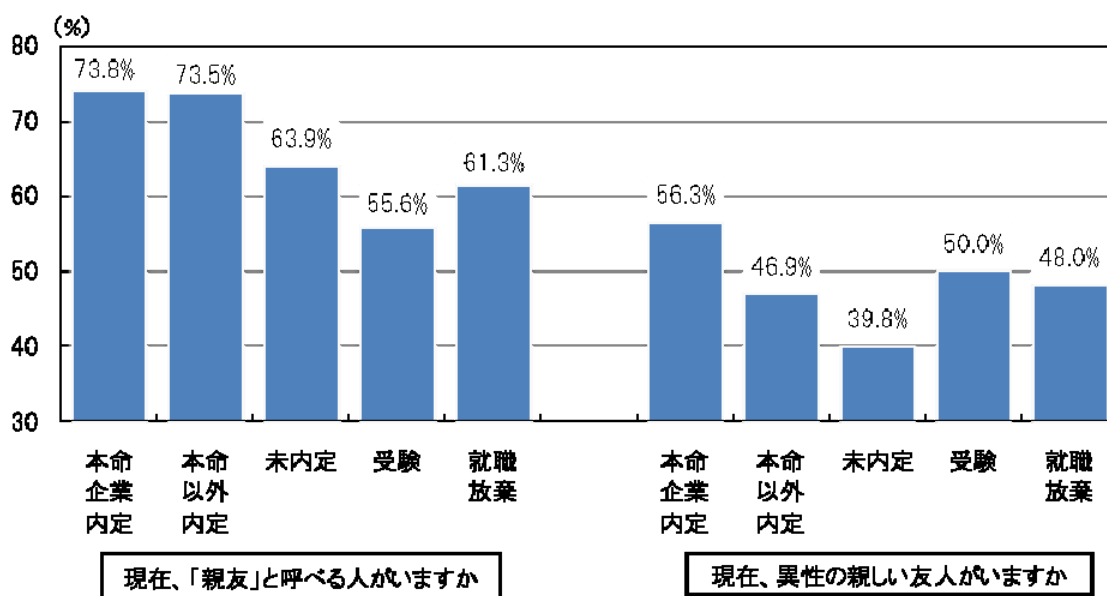
\*\* p<.01 \* p<.05

## 「親友」と「異性の友人」の存在は内定獲得への力になる？

就活結果と「親友」と「異性の親しい友人」の存在の関連を表すグラフです。

内定を獲得した学生は「親友」がいると回答した割合が高く、受験組は最も低い。このことは今まで紹介してきた「大学で学ぶ理由」、「生活時間」、「自己評価」とも関連する結果といえます。

「異性の親しい友人」がいるとの回答は、本命企業内定を獲得した学生の回答が目立って多く、本命以外内定、未内定の順に少なくなります。一方、「親友」では最も回答が少なかった受験組が、「異性の親しい友人」では2番目に多く回答しています。就活放棄組は「親友」、「異性の親しい友人」ともに平均的水準の回答数で、孤立しているわけではありませんでした。



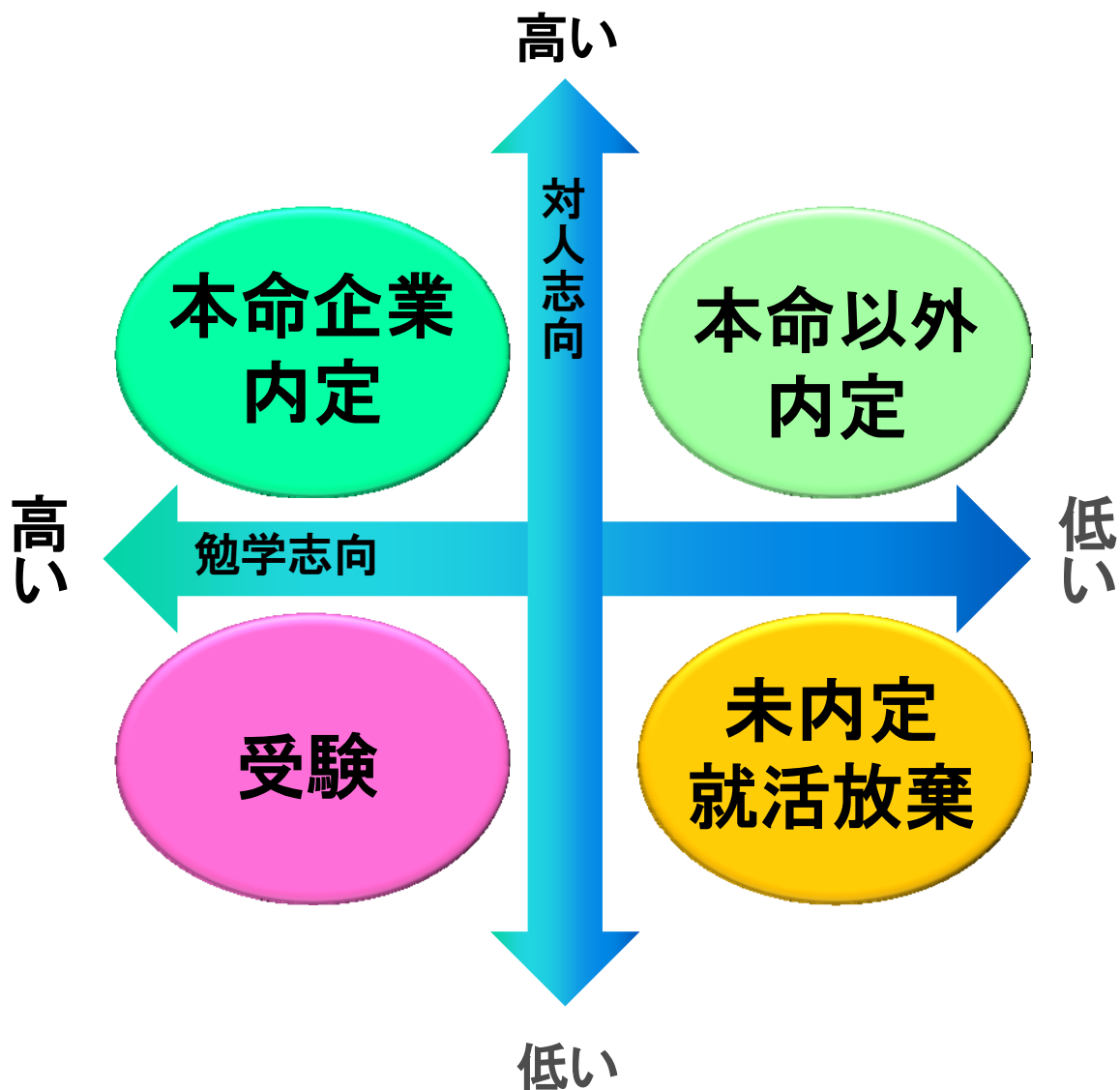
### よく遊び、よく学ぶことが、より良い就活結果に結びつく

ご紹介してきた調査結果から、大学生の就活結果は「対人志向」と「勉学志向」の二つの軸から整理できます。下図のように、就活を行って第一志望に内定した「本命企業内定」の学生は、対人志向と勉学志向の両方も高い傾向があります。本命以外内定の学生は対人志向は高いものの、勉学志向が低いために、本命以外内定という結果になったと考えられます。

受験によって就活を目指す学生は「勉学志向」は高いものの、「対人志向」が低い傾向にありますが、これは対人関係が苦手ということと同時に、意識的に考慮しないケースも考えられます。

未内定または就活放棄の学生は「対人志向」、「勉学志向」ともに低い傾向にあります。しかし、就職や受験以外の道、例えば芸術的職業、事業継承などに進むケースも考えられ、すべてがニート予備軍というのは早計でしょう。

この調査結果はあくまでも一般的な就活・就職と大学生の意識・行動を見たものであり、これ以外にも大学生の進むべき方向は自らの判断に基づいて、より多彩で、自由であるべきであることは言うまでもありません。





## 調査概要

項目	内容
1. 調査目的	大学生の生活実態ならびにキャリア形成活動・将来設計・就職意識を把握するために、2007年11月に実施した「大学キャリア意識調査2007」の回答者に対し1年後の状況を確認すべく追跡調査を実施した
2. 調査エリア	全国
3. 調査対象	2007年調査 4年制大学、医系・薬系6年生大学に通う1年生・3年生 2008年調査 2007年度の調査に回答した4年制大学に通う2年生・4年生
4. 調査方法	インターネットリサーチ
5. 調査対象抽出法	2007年調査 (株)電通リサーチMILLIO-NETモニターより無作為抽出 2008年調査 (株)電通リサーチ MILLIO-NETモニターの2007年度調査の回答者のうち、4年制大学在籍者
6. 有効回収数	2007年調査 大学1年生988人(男子:512女子:476)大学3年生1025人(男子:563女子:462) 2008年調査 大学2年生398人(男子:188女子:210)大学4年生563人※(男子:293女子:270)
7. 実施時期	2007年調査 2007年11月8日～14日 2008年調査 2008年11月12～18日
8. 調査実施機関	(株)電通リサーチ
9. 企画	財団法人電通育英会
	所在地: 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
10. 調査設計・アドバイザー	京都大学高等教育研究開発推進センター准教授溝上慎一氏 労働政策研究・研修機構副主任研究員下村英雄氏
11. 解析・コメント執筆	労働政策研究・研修機構副主任研究員下村英雄氏

※「大学生のキャリア意識調査2007追跡報告書【4年生・就職編】」は大学4年生563人を対象にまとめたものです。

上記調査のデータ数表(単純集計表・クロス表等)および質問票は、電通育英会のホームページ(<http://www.dentsu-ikueikai.or.jp/>)をご参照ください。

## 7月25・26日に京都大学と共催で「大学生研究フォーラム2009」を開催

報告書の執筆者・下村英雄氏も、調査データを引用した講演を行います

また、2009年7月24・25日に京都大学高等教育研究開発推進センターと電通育英会共催の「大学生研究フォーラム2009」(会場: 京都大学百周年時計台記念館)が開催されますが、2日目に本報告書「大学生のキャリア意識調査2007追跡調査報告書【4年生・就職編】」の執筆者・下村英雄氏(独立行政法人 労働政策研究・研修機構 キャリアガイダンス部門・副主任研究員)による「大学生に本当に必要なキャリア教育とは何かー2007～2008年縦断調査にみる現代大学生の就職活動ー」と題した講演も予定されています。また、フォーラム参加者全員に本報告書が配布される予定です。

「大学生研究フォーラム2009」の詳細については、<http://www.dentsu-ikueikai.or.jp>をご覧ください。また、フォーラムへの参加はホームページ上のフォーマットからお申し込みください。